

**森六**  
**MORIROKU**

**2022年3月期 第1四半期  
決算補足資料**

---

**東証1部 4249**

**森六ホールディングス株式会社**

**2021年8月6日**

半導体供給不足の影響があるが、コロナ禍からの需要回復により前年同期比で増収増益  
収益認識に関する会計基準を今期より適用

(億円)

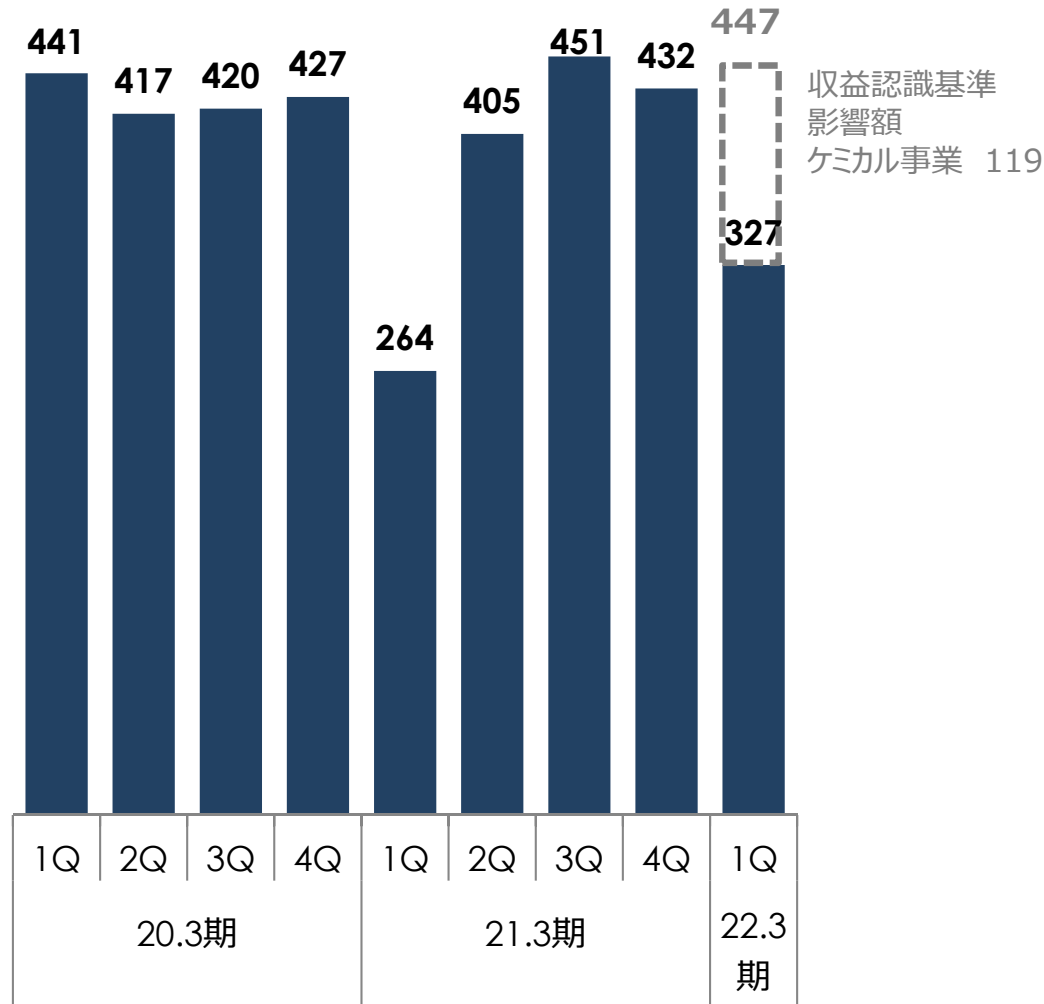
	21.3期 1Q実績	22.3期	増減額	増減率	22.3期 通期予想	進捗率
		1Q実績 収益認識基準適用 上段：有、下段：無				
売上高	264	<b>327</b> ※447	- ※182	- ※69.2%	1,430	22.9%
営業利益	1	<b>10</b>	8	673.2%	81	12.4%
営業利益率	0.5%	<b>3.1%</b>	-	-	-	-
経常利益(△損失)	△7	<b>10</b>	17	-	80	12.8%
四半期(当期)純利益 (△損失)	△20	<b>3</b>	24	-	52	7.3%
EPS(円)	△125.86	<b>23.03</b>	148.89	-	313.81	7.3%
為替米ドル(円)【期中平均】	107.6	<b>109.5</b>	1.9	1.7%	105.0	-
中国元(円)【期中平均】	15.6	<b>16.4</b>	0.8	5.1%	16.4	-
ナフサ価格(円/kl)【期中平均】	25,000	<b>47,700</b>	22,700	90.8%	36,000	-

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

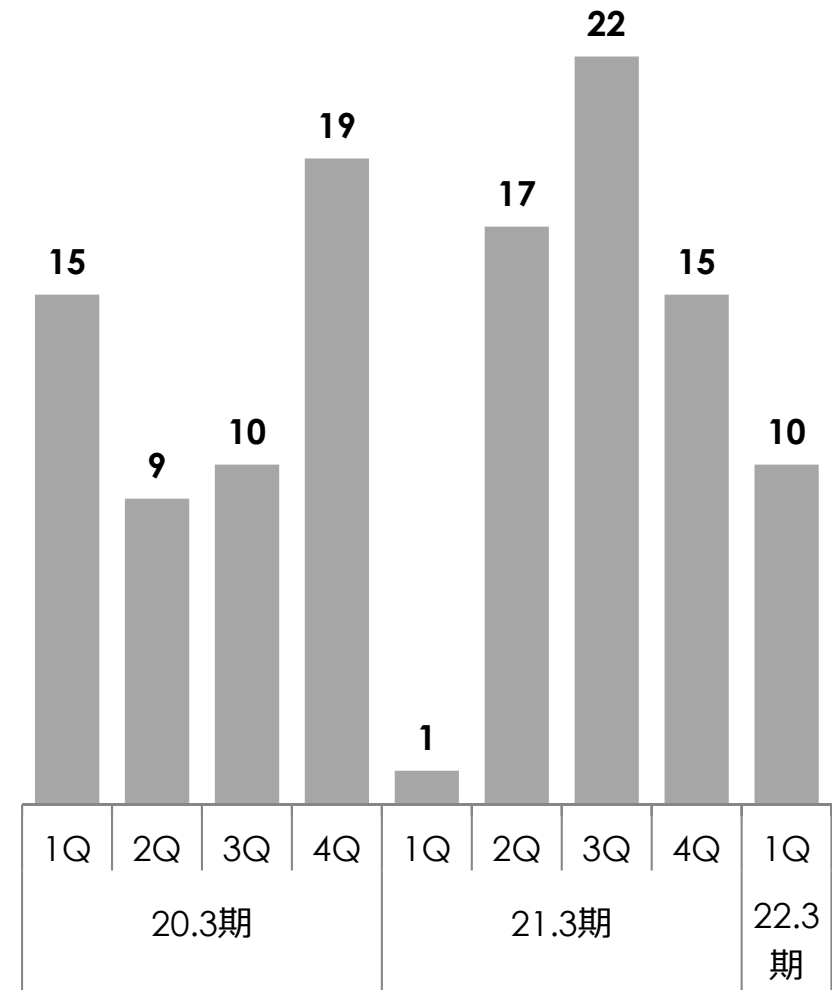
# 四半期売上高、営業利益

収益認識基準の適用による売上への影響はケミカル事業で119億円、利益への影響はなし

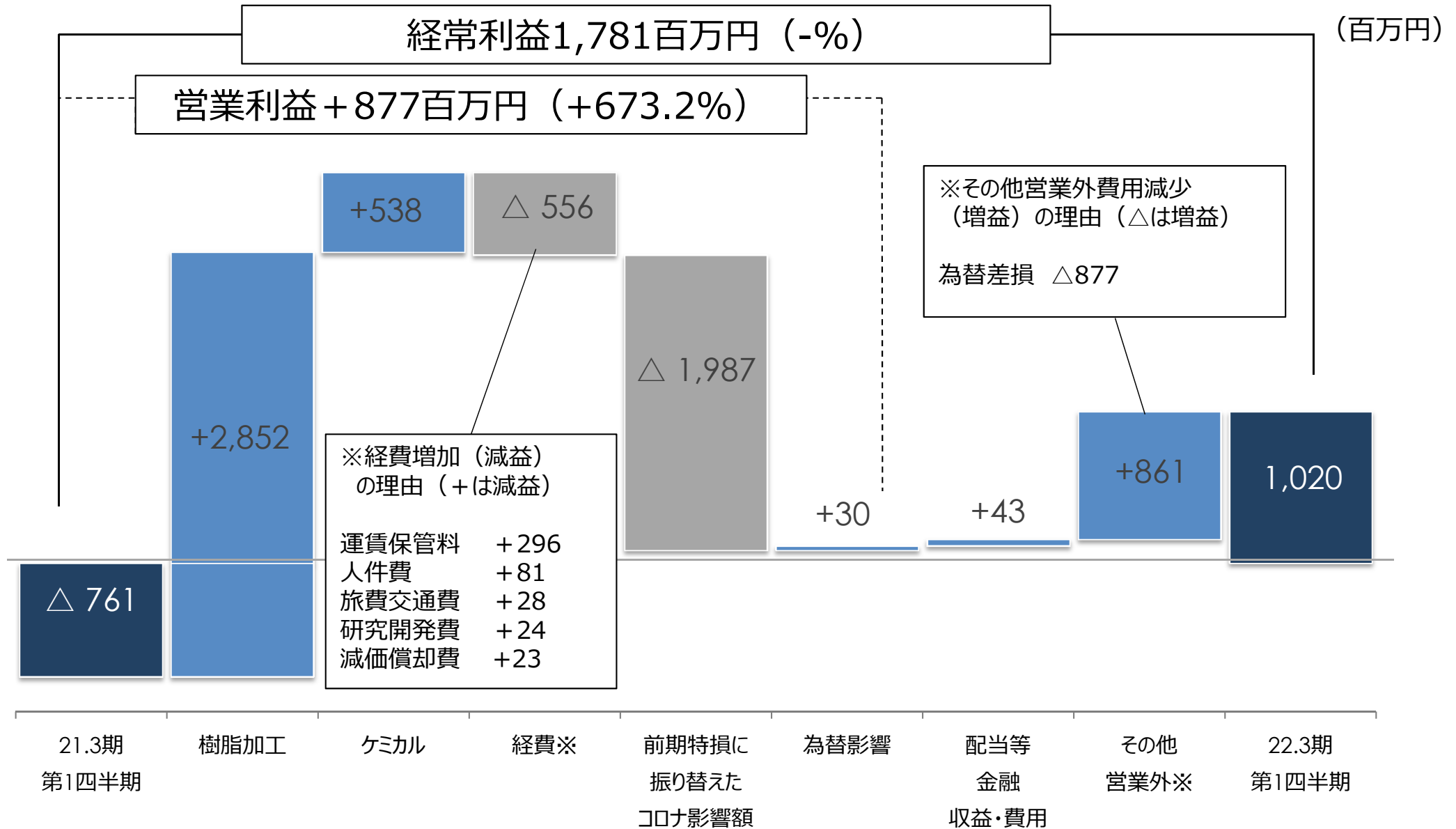
四半期売上高（億円）



四半期営業利益（億円）



## コロナ影響の反動に加えて為替差損の縮小により、黒字化、大幅増益

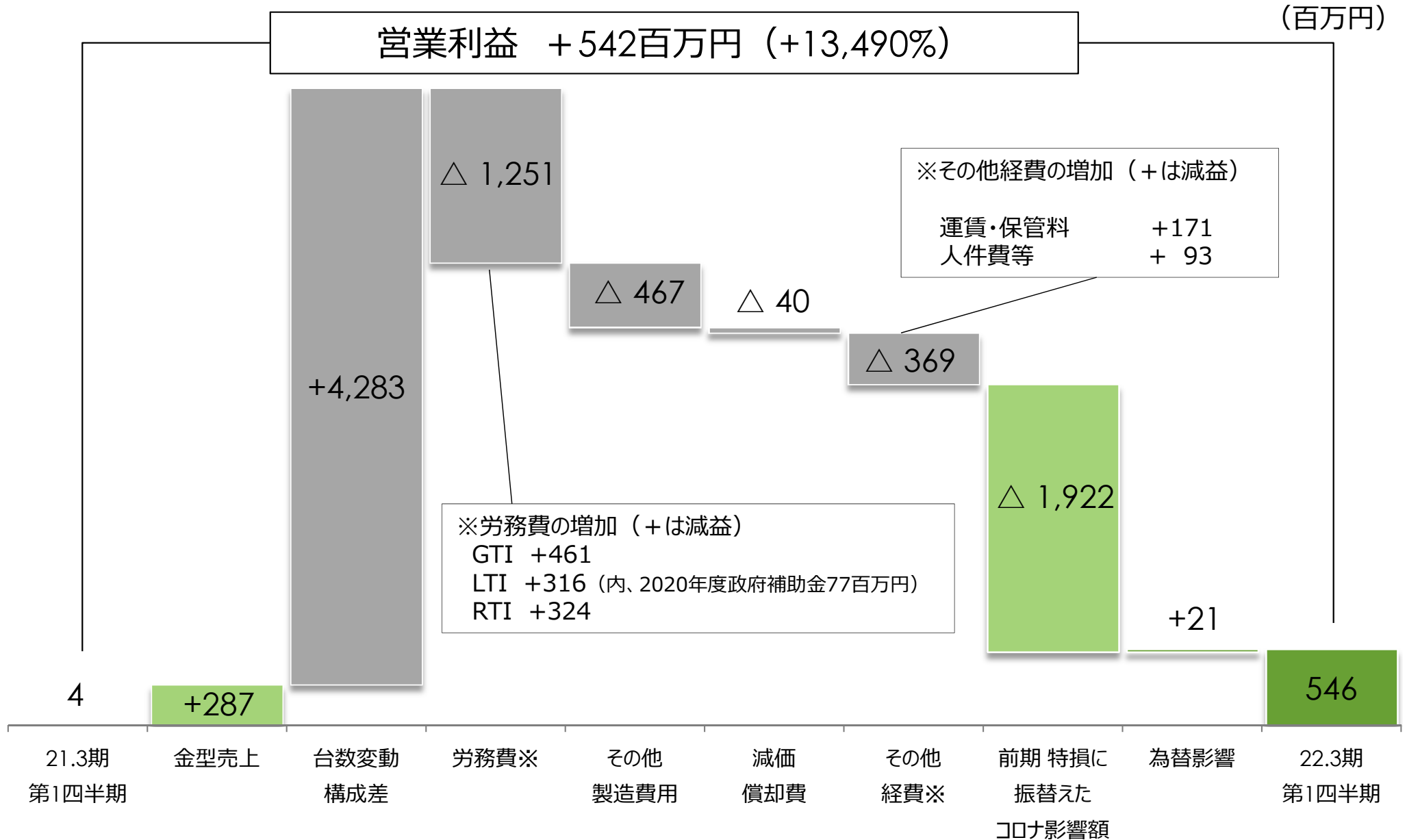


(億円)

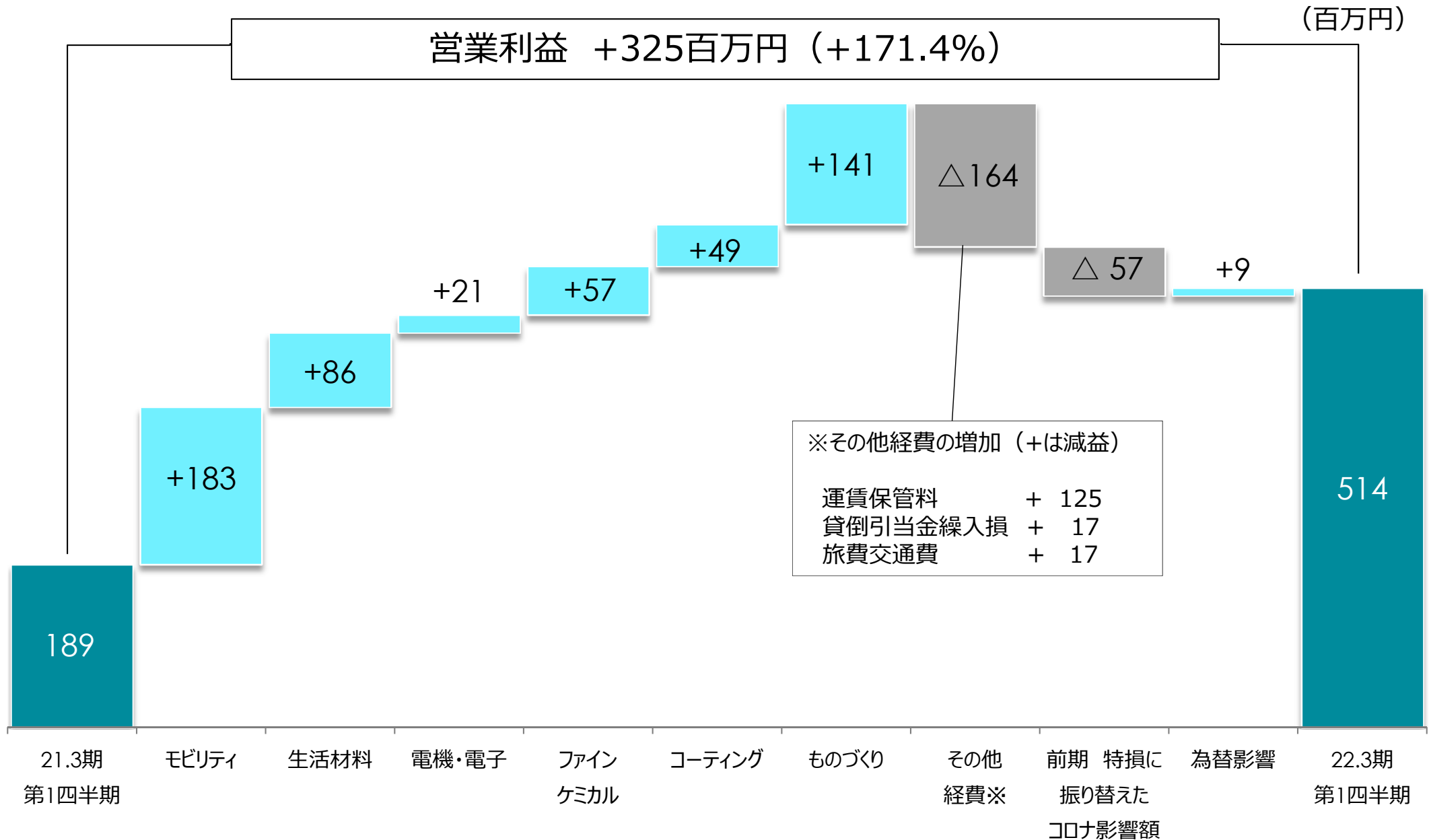
	21.3期 1Q実績	22.3期	増減額	増減率
		1Q実績 収益認識基準適用 上段：有、下段：無		
売上高	264	<b>327</b> ※447	- ※182	- ※69.2%
樹脂加工製品事業	128	<b>261</b> ※261	※132	※102.6%
ケミカル事業	135	<b>66</b> ※185	- ※50	- ※37.3%
営業利益	1	<b>10</b>	8	673.2%
樹脂加工製品事業	0	<b>5</b>	5	-
ケミカル事業	1	<b>5</b>	3	171.5%
営業利益率(%)	0.5%	<b>3.1%</b>	-	-
樹脂加工製品事業	0.03%	<b>2.1%</b>	-	-
ケミカル事業	1.4%	<b>7.8%</b>	-	-

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

半導体不足の影響はあったが、コロナで工場停止した前期に比べて生産台数は回復



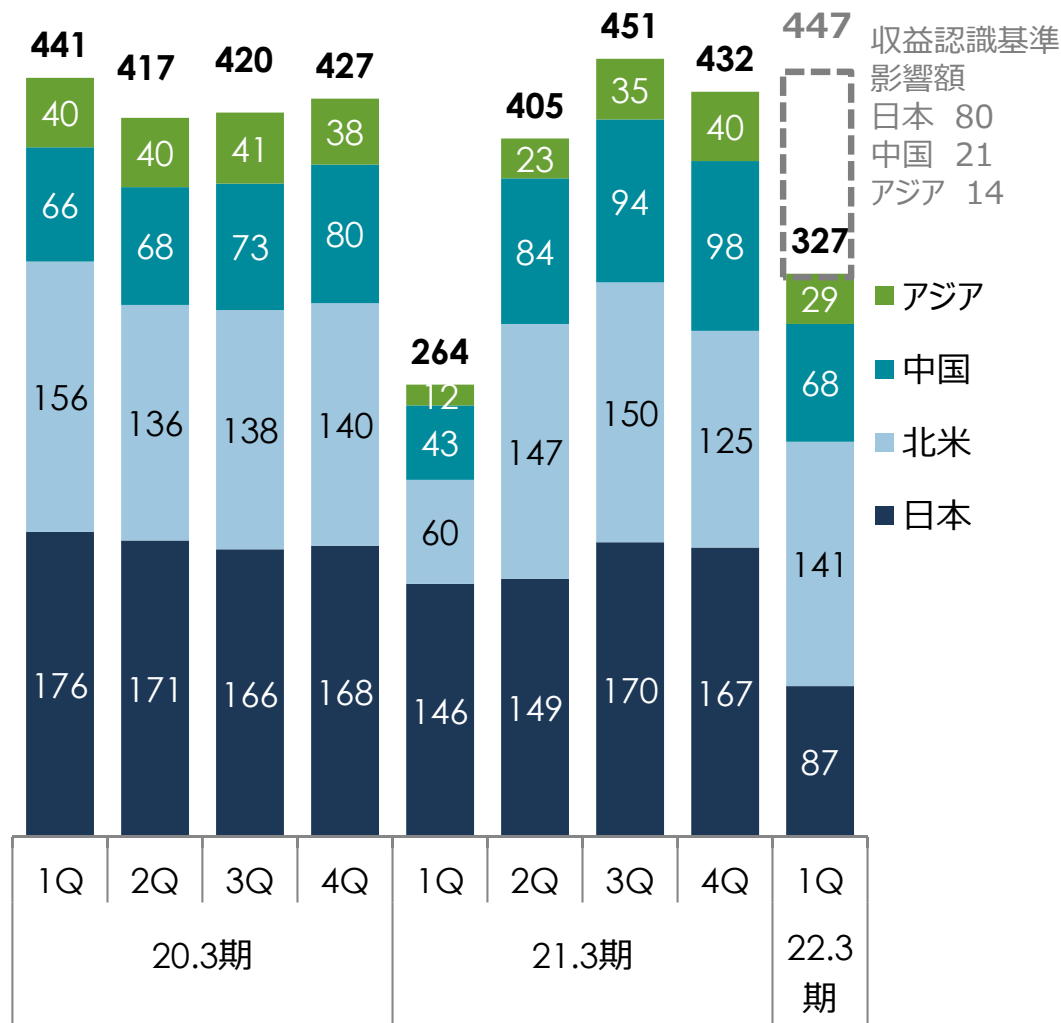
モビリティ、ものづくり分野を中心にすべての事業領域で増益



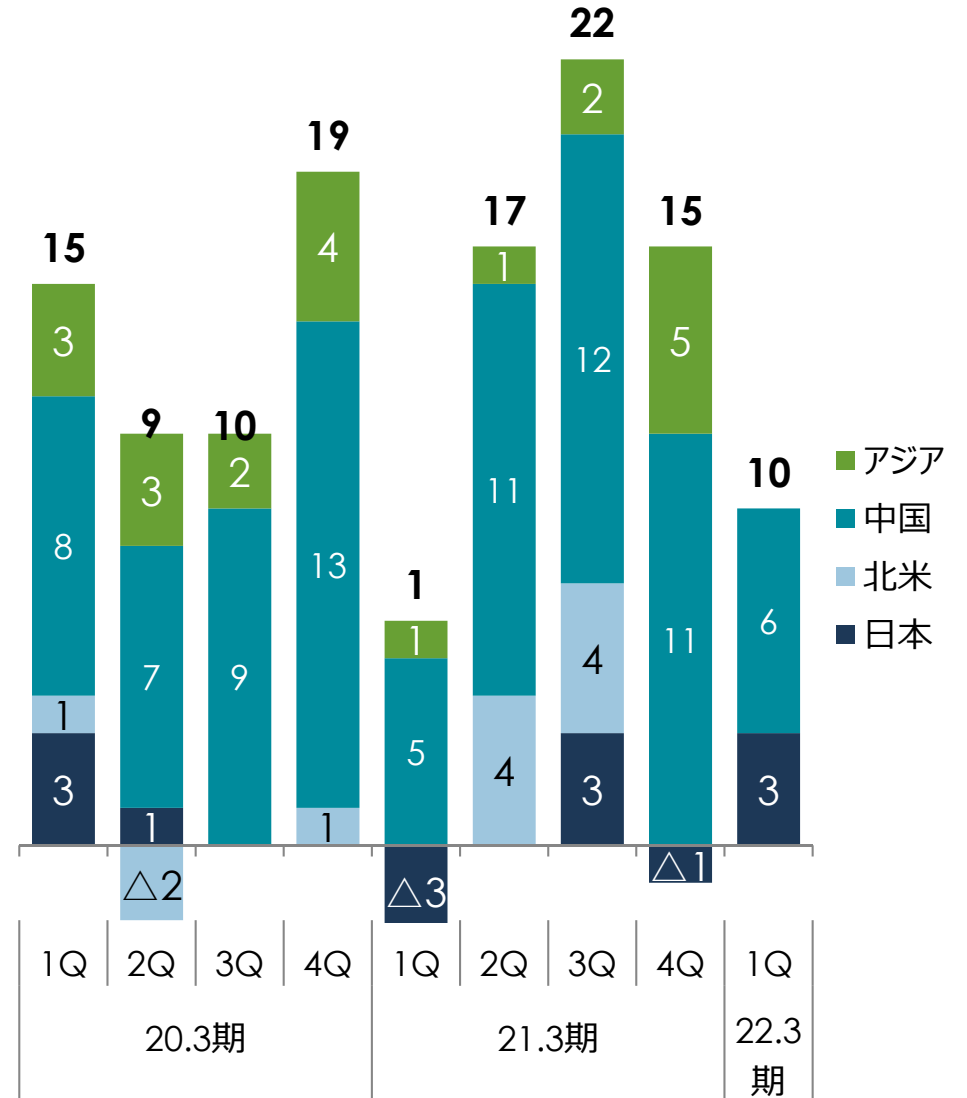
# 所在地別・四半期売上高、営業利益

グローバルでは、半導体不足やコロナ再拡大により、21.3 4Qに比べて減速  
 国内は、ケミカル事業の好調によりマイナス影響を吸収

## 所在地別・四半期売上高（億円）



## 所在地別・四半期営業利益（億円）





# 2022年3月期 第1四半期決算 貸借対照表 (概略)

自己資本比率は52.6%、引き続き安定した財務基盤を維持

(億円)

	21.3期末	22.3期 1Q末	差額		21.3期末	22.3期 1Q末	差額
<b>流動資産</b>	673	<b>668</b>	△ 4	<b>流動負債</b>	510	<b>495</b>	△ 14
(現預金)	179	<b>170</b>	△ 9	(買入債務)	233	<b>236</b>	2
(売上債権)	324	<b>317</b>	△ 7	(短期借入金)	188	<b>186</b>	△ 1
(在庫)	134	<b>143</b>	9	<b>固定負債</b>	117	<b>121</b>	4
<b>固定資産</b>	655	<b>661</b>	6	(長期借入金)	46	<b>50</b>	4
(有形固定資産)	438	<b>439</b>	1	<b>負債合計</b>	627	<b>617</b>	△ 9
(投資有価証券)	182	<b>186</b>	3				
				<b>純資産合計</b>	701	<b>712</b>	11
<b>資産合計</b>	1,328	<b>1,330</b>	1	<b>負債純資産合計</b>	1,328	<b>1,330</b>	1
				<b>借入金</b>	234	<b>237</b>	2
				<b>自己資本比率</b>	51.8%	<b>52.6%</b>	0.8PT

## 五興化成工業 8億円の設備投資を決定

### 現状

- 化学品受託合成、自動車用の制振塗料が中心



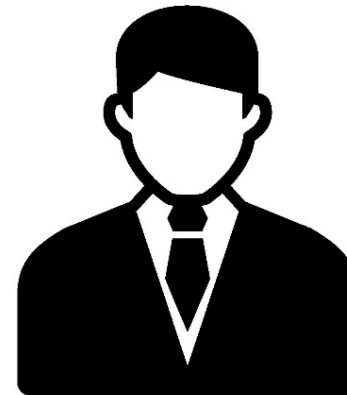
新築した実験ラボの様子

### 今後の展開

- 新設備を活用し、化学品受託合成ビジネスを拡大
- 自社製品の開発にも注力し、付加価値の高いビジネスモデルへ変革、収益拡大を図る

## 男性の育児休暇取得を推進

職場のサポートと復職後のキャリア形成支援により、取得者は年々増加



男性育児休暇 取得者

**4名** ※2021/8/6  
取得中 現在

平均取得期間

**188日** ※最長1年

## 弊社所属 山路晶プロが史上初の快挙



- JLPGA公式ツアー中に1ラウンド（18ホール）で2度のホールインワンを達成
- そのうちハーフ（9ホール）で2度のホールインワンとしてギネス認定

## 新市場区分「プライム市場」へ適合

一層のガバナンス強化と情報発信の充実を図るとともに、事業における環境負荷低減に取り組み、持続可能な社会に貢献してまいります。

2021/5/13付の業績予想から変更なし  
 半導体供給が安定した後は、挽回生産を見込む

(億円)

	21.3期 実績	22.3期		
		通期予想 収益認識基準適用 上段：有、下段：無	増減額	増減率
売上高	1,554	1,430 ※ 1,850	- ※ 295	- ※ 19.0%
営業利益	56	81	24	42.8%
営業利益率	3.6%	5.7%	-	-
経常利益	55	80	24	43.0%
当期純利益	3	52	48	-
EPS(円)	22.68	313.81	291.13	-
為替 米ドル(円)【期中平均】	106.1	105.0	△ 1.1	△1.0%
中国元(円)【期中平均】	15.5	16.4	0.9	5.9%
ナフサ価格(円/kl) 【期中平均】	31,300	36,000	4,700	15.0%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期		
		通期予想 収益認識基準適用 上段：有、下段：無	増減額	増減率
売上高	1,554	<b>1,430</b> ※ 1,850	- ※ 295	- ※ 19.0%
樹脂加工製品事業	933	<b>1,120</b> ※ 1,120	※ 186	※ 20.0%
ケミカル事業	621	<b>310</b> ※ 730	- ※ 108	- ※ 17.4%
営業利益	56	<b>81</b>	24	42.8%
樹脂加工製品事業	45	<b>65</b>	19	41.9%
ケミカル事業	13	<b>18</b>	4	29.5%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値

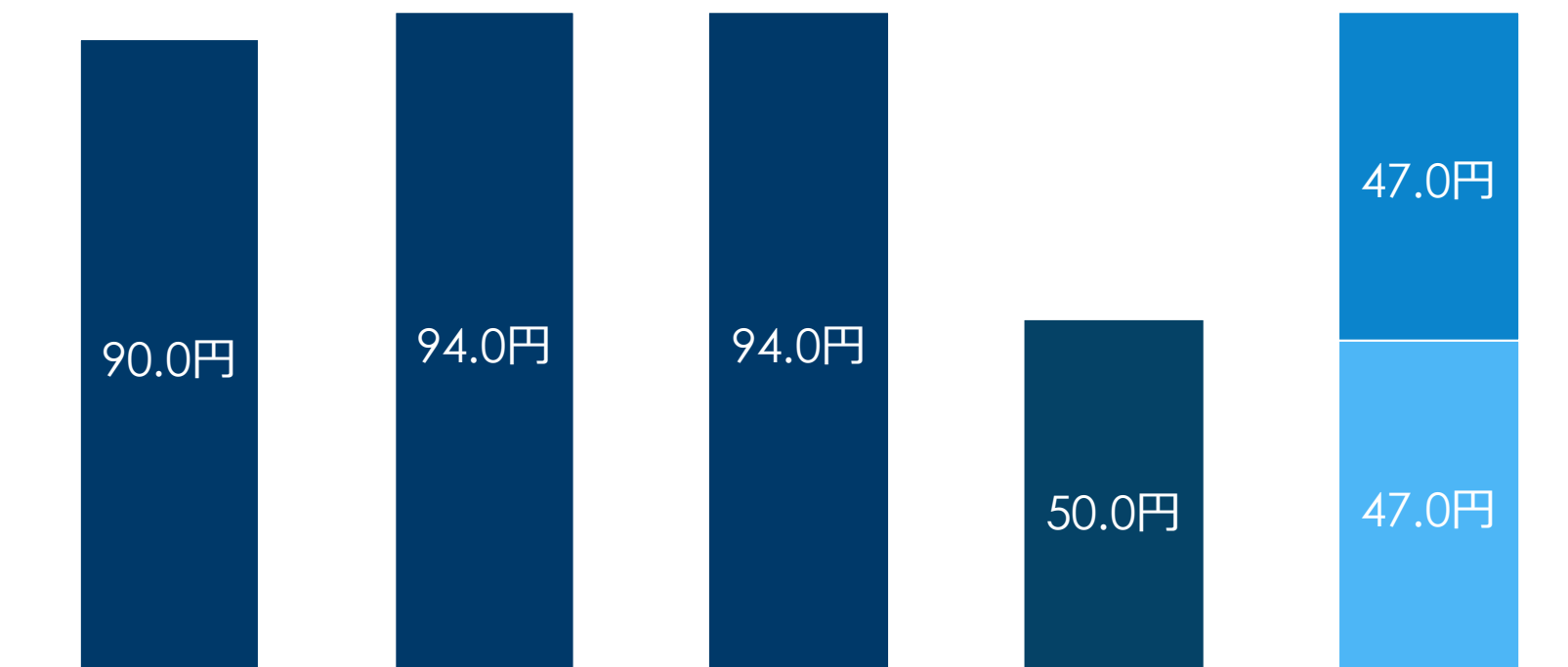
生産現場における再生可能エネルギーの活用、バイオプラスチックの車載適用研究など、環境に配慮した投資や研究・開発に注力

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
設備投資額	70	115	45	65.1%
減価償却費	70	81	10	14.4%
研究開発費	25	27	1	6.6%

年間配当94.0円の予想から変更なし

将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施



	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期予想
一株配当	90.0円	94.0円	94.0円	50.0円	94.0円
配当性向	20.2%	25.4%	44.2%	220.5%	30.0%

## 【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。